

コンクリート診断士・技士、非破壊試験資格者等、調査・診断業務の専門家が対応。
現場でのデータ採取から化学分析まで、様々な調査手法を御用意しています。

標準調査

変状の現状調査……ひび割れパターン、幅、長さ等
変状近傍の調査……表面の乾湿状態、汚れ、浮き、剥離等
不具合の調査……漏水、エフロレッセンス、錆汁等

} 目視調査・打診

詳細調査 (より詳細なデータを収集し変状の原因を特定)

(a) コンクリートの調査

- ・強度試験……コア採取、反発硬度法 (シュミットハンマ)
- ・中性化深さ……はつり法、簡易法 (ドリル粉末)、コア採取
- ・塩化物含有量……コア採取、ドリル粉末 → 電位差滴定法等
- ・ASR (アルカリ骨材反応)……コンクリートの残存膨張量 (カナダ法等)

(b) 鉄筋の調査

- ・腐食調査……はつり試験、自然電位測定

(c) ひび割れの詳細調査

- ・ひび割れ原因推定……ひび割れパターンの分析
- ・ひび割れ幅の変動……コンタクトゲージ等
- ・ひび割れ深さ……超音波法

(d) 浮き・剥離の詳細調査……超音波法、赤外線法

(e) 内部欠陥の調査 (ジャンカ、コールドジョイント等)……超音波法、放射線透過試験、電磁波レーダー法



どのようなことでも
ご相談ください。



ISO 9001 認証 (一社)日本溶接協会 CIW-A 種認定
(公社)日本鉄筋接手協会 優良鉄筋継手部検査会社認定

北日本非破壊検査(株)

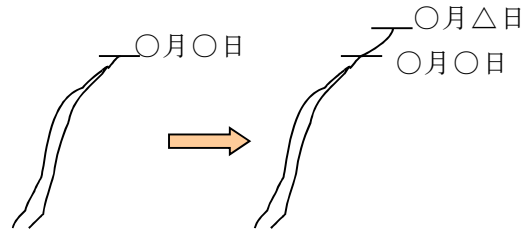
新潟市東区南紫竹1丁目2番14号
TEL:025-286-4567 FAX:025-286-8026
HP:<http://kitanihonhihakai.co.jp>
e-Mail: khk111@r7.dion.ne.jp

ひび割れの現状測定、経年変化の測定

現場で目視試験にあたる技術者は、コンクリートの性質について学習し、熟知しているとともに、ひび割れの性状についての知識を十分に学習し、経験を積んでおく必要があります。当社の熟練した技術者が目視試験にあたり、信頼性高いデータ収集をします。



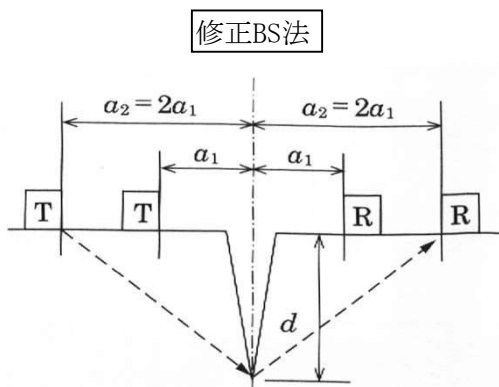
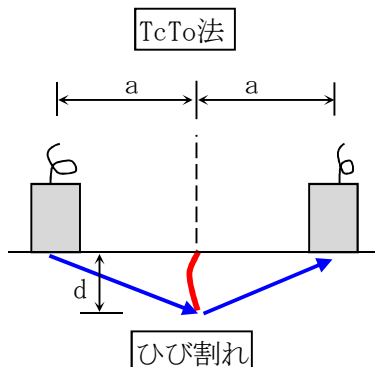
クラックスケールによるひび割れ幅の測定



ひび割れは時間の経過と共に成長する場合があります。この経年変化を調べるには正しい手順による正確な測定、記録が必要です。当社の確かな技術でこの要求に応えます。

ひび割れ深さの測定

最適な測定器を利用してひび割れ深さを測定します。



エルソニック ESI-10 (株東横エルメス社製)